



COTTON USA™  
THE COTTON THE WORLD TRUSTS

# アメリカ綿が繊維品質特性を向上させる

アメリカ綿作農家による絶え間ない改善がメーカーの満足度を引き上げる

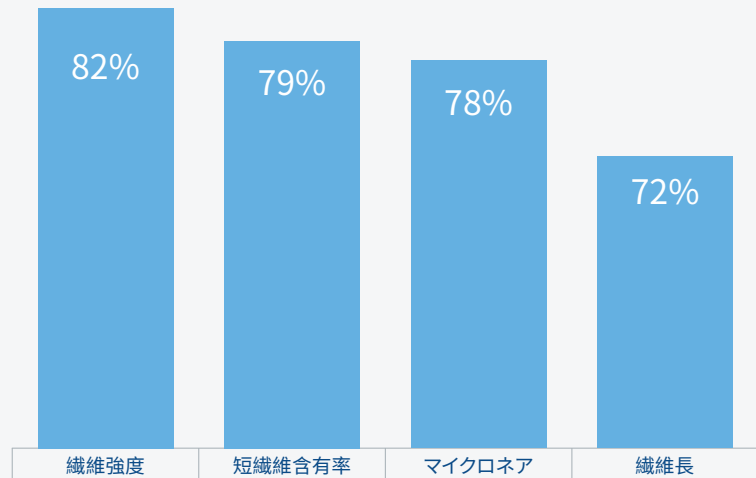
紡績／メーカー／ブランド／小売の皆様にとって最も大きな意味を持つ繊維特性の向上に、アメリカ綿作農家と科学者たちはこれまで16年間にわたり取り組み続けてきました。

## 最も重要な繊維特性は何か？

2018年3月に開催されたブレーメン国際綿花会議において「綿の品質に関するブレーメン-アーヘン調査」(28か国170人が回答)の結果として、紡績メーカーが綿花に求める特性ランキングが発表されました。

最も上位にランクされた特性は、繊維強度、短繊維含有率、マイクロネア(繊維の太さ)、繊維長でした。

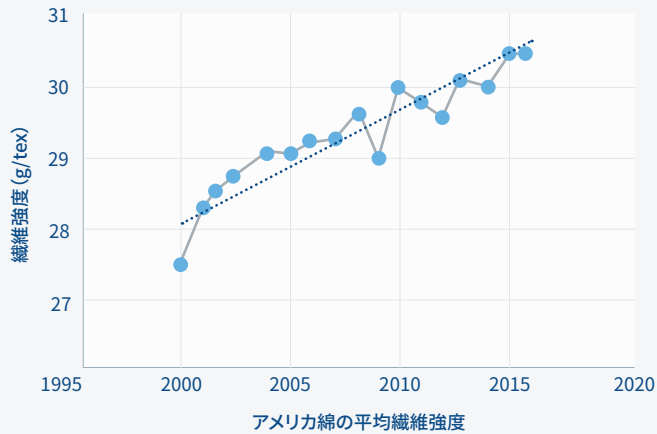
ファブリックにおいて最も重要視している繊維特性ランキング



これまで16年以上にわたり、アメリカ綿作農家は上質なファブリックを作るために信頼される繊維を育て、これらの主要特性全ての性能向上を果たしてきました。

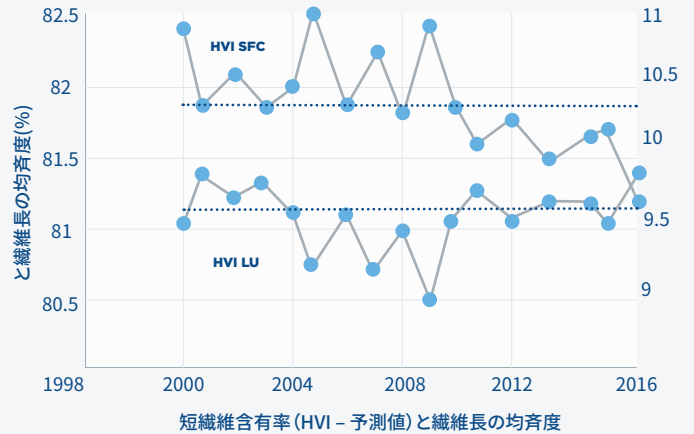
## 繊維強度

繊維強度は紡績メーカーの求める特性のトップであり、82%が重要と答えました。アメリカ綿作農家は16年以上もの間、繊維強度向上に取り組んでいます。2000年から2016年の間にアメリカ綿の平均強度は27.60 G/TEXから30.35 G/TEXへと10%の向上を実現しました。



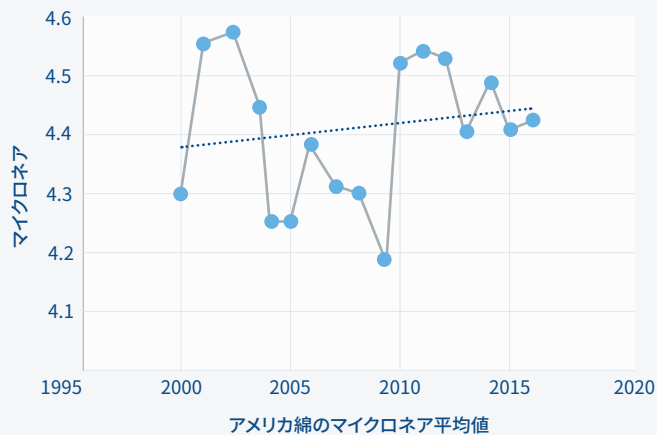
## 短繊維含有率

短繊維含有率は79%の紡績メーカーが重要な特性であると答え、2番目にランクされました。この点においてもアメリカ綿作農家は改良を続け、過去16年で短繊維の含有率を下げました。現在、アメリカ綿の短繊維含有率は対2000年比でマイナス9.4%です。一方、繊維長の均斉度に関しては一定を維持しています。



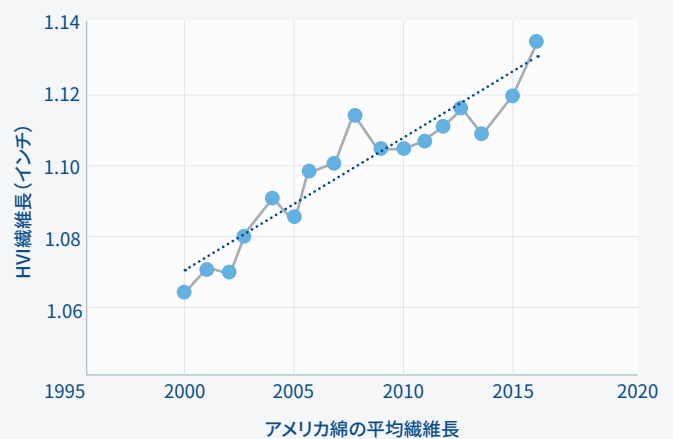
## マイクロネア

マイクロネアは繊維特性の上位4項目中3番目 (78%) に入りました。マイクロネアは加工で発生する廃棄物、ネップ、紡績性能、糸や生地品の品質、染色生地性能に影響します。アメリカ綿のマイクロネア平均値には多少の変動があるものの、2000年以降の傾向としては3%増加となっています。



## 繊維長

紡績メーカーが求める繊維特性の4番目には繊維長 (72%) が入りました。アメリカ綿作農家は過去16年超にわたって平均繊維長を伸ばし、1インチ当たりの平均HVI繊維長は6%向上して1.13インチとなりました。



## 結論

COTTON USAは「世界で信頼されるコットン」として、年を経るごとにより多くの紡績／メーカー／ブランド／小売の皆様からより強い信頼を獲得しています。その陰には品質重視の紡績・ファブリックメーカーに最も重視されている4つの繊維特性（繊維強度、短繊維含有率、マイクロネア、繊維長）に優れた綿花の生産のため、技術や品種の改良に取り組んできたアメリカ綿作農家の存在があります。アメリカ綿作農家は世界中のどこにも負けない上質の綿花を生産することに注力しています。これからもアメリカ綿の品質向上は続きます。